能美市国保加入者

R8年度

能美市 血管ドック・がんドック・脳ドック

ご案内

目　的 ⇨ **自覚症状のない病気を早期に発見し、早期に治療を行うことと、検査結果により生活習慣を見直し、病気の発症を予防します。**

対　象 ⇨ **能美市に住所がある方、能美市国民健康保険の被保険者**
市税等に滞納がある方は、助成が受けられない場合があります。
（「能美市納税等にかかる公平性の確保に関する条例」における制限措置の実施対象事業となっています。）

コース ⇨ **血管ドックコース、がんドックコース、脳ドックコース**
コースを組み合わせることもできます。
＊血管ドック（糖負荷あり）とがんドックを組み合わせる場合は、日帰り２日ドックとなります。

※対象年齢は年度末日（３月３１日）を基準とします。

コース	対象年齢	目　的	注意事項
血管ドックコース	３０～７４歳	心臓病や脳卒中、糖尿病、腎臓病などの生活習慣病の発症・重症化予防	年度内に市が実施する特定健診または血管ドック、どちらかの助成となります。
がんドックコース※１	４０～７４歳	呼吸器、消化器、肝臓、前立腺、などがんの早期発見	年度内に市が実施するがん検診とがんドック、どちらかの助成となります。 ※１　乳がん、子宮頸がんに関する検査は含まれません。能美市のがん検診等を利用してください。
脳ドックコース	５０歳・５５歳 ６０歳・６５歳 ７０歳 ※該当年齢の方のみ	脳卒中や認知症の予防及び脳腫瘍などの早期発見	血縁者に脳卒中の既往がある方や高血圧、喫煙者、肥満の方は脳ドックをお勧めします。（脳クリップやﾍﾟｰｽﾒｰｶｰを装着している方は受けられません。）

★検査結果については、実施医療機関から市に情報提供されます。

★治療中の方は、病状の悪化を招くおそれがある検査については受けられないことがあります。受診について主治医とご相談ください。

★糖尿病治療中の方は、かけはしチェック（能美市医師会糖尿病合併症検査・食事指導・療養指導）のご利用をお勧めします。自己負担額について市の助成制度があります。

★血管ドック・がんドックコースについては、市および職場の健診で重複する内容を受診した場合は受けられませんのでご注意下さい。

【お問い合わせ】 能美市健康福祉部健康推進課　住所:寺井町ぬ48　☎:58－2235　FAX:58－6897

受診までの流れ

①申　請

電子申請または健康保険証を持参し、健康推進課（能美市健康福祉センター「サンテ」）、市民サービス課、根上サービスセンターで申請。

（申請書は能美市ホームページからもダウンロードできます。）

②受診券が届く

申請書の確認後、対象者に市から受診券を発行します。

（約 10 営業日後）

③病院に予約

予約制です。受診券が届きましたら、早めに病院に予約してください。受診券番号を病院にお伝えください。

④病院からの案内

病院から自宅に受診に関する案内が届きます。

⑤ドック受診

予約した日に病院へ行き、検査を受けます。

【受診時の持ち物】

① 市から発行の受診券

・「人間ドック・脳ドック受診券」

・「市の健診・がん検診受診券（※6 月以降にがんドック・血管ドックを受診する場合）」

②病院からの問診票

③マイナ保険証

実施医療機関

能美市立病院

能美市大浜町ノ８５

☎５５－２３１０

（健診センター）

寺井病院

能美市寺井町ウ８４

☎５８－５５００

※脳ドックは城北病院（金沢市）

◆送迎バスあり

芳珠記念病院

能美市緑が丘１１－７１

☎５１－５５５３

（健診センター）

コース	項　目	内　　容
血管ドック	問診	既往歴、自覚症状など
	身体測定	身長、体重、BMI、腹囲測定
	循環器	血圧測定、安静時心電図検査、眼底検査
	血液検査	総コレステロール、中性脂肪、HDL、LDL、GOT、GPT、γGTP、クレアチニン、尿酸、赤血球、血色素など
	糖尿病	空腹時血糖、ＨｂＡ１ｃ、インスリン検査、 ７５ｇ糖負荷検査※1
	検　尿	尿糖、尿蛋白、尿潜血、微量アルブミン尿
	血管の状態	頚動脈エコー検査、ＡＢＩ（足関節上腕血圧比）
	事後指導	診察、検査結果説明、健康相談
がんドック	問　診	既往歴、自覚症状など
	呼吸器	肺ＣＴまたは胸部Ｘ－Ｐ検査：裏面の説明をご覧下さい。 （50 歳以上の方はどちらかを選択。50 歳未満の方は胸部X-P検査となります。）
	消化器	食道・胃・十二指腸内視鏡検査・便潜血反応検査
	形態学検査	超音波断検査（肝・胆管・胆嚢・膵・脾・腎）
	前立腺がん	ＰＳＡ（５０歳以上男性）
	肝炎ウイルス	ＨＢｓ抗原、ＨＣＶ抗体※2
	事後指導	検査結果説明、健康相談
脳ドック	問　診	既往歴、自覚症状
	脳検査	ＭＲＩ（頭部）、ＭＲＡ（頭部・頚部）、頚動脈エコー
	事後指導	検査結果説明、健康相談

※1　75g 糖負荷試験は、節目年齢（30･35･40･45･50･55･60･65･70 歳）のみ対象となります。

※2　検査の対象とならない場合があります。

費　用

	血管ドック		がんドック		脳ドック
	節目年齢	節目年齢以外	肺 CT 検査	胸部 X-P 検査	
自己負担	8,800 円	7,600 円	11,200 円	9,600 円	9,600 円

※血管ドックの節目年齢（30･35･40･45･50･55･60･65･70 歳）の人は、75g 糖負荷試験を実施しますので、
がんドックと併用される場合は、日帰り２日ドックとなります。

肺CT検査について

【受診者の利益】

CT検査は、胸部X線検査と比べ細かな断面で肺をみることができるため、小さい肺がんを見落とす可能性が少ない検査です。治療後の生活の質の向上が期待できます。

【受診者の不利益】

がんではない異常を「肺がんの疑い」とする場合や、生命を脅かすことのない進行の遅い肺がんを発見する場合もあります。

【放射線量と被爆】

日常生活上に浴びる放射線被爆量（年間）・・・0．46mSv（ミリシーベルト）

胸部X線・・・0．06～0．2mSv　　胃透視・・・4～8mSv

胸部CT（通常）・・・8～12mSv　　胸部 CT（低線量　検診時）1．5～2．0mSv

（参考）人体が白血病やがんになると言われている放射線量・・・一度に1000mSv

【推奨される対象者および受診間隔】～CT検診ガイドラインより～

・50歳以上で、喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600を超える人…1年に1回

・50歳以上の人…3～5年に１回　　※50歳未満でのCT検診は推奨されていません。

【お願い】

受診者の不利益と、検査結果の活用につきましては、検査前に同意書に署名をいただいておりますので、ご了承ください。個人情報については守秘義務を遵守いたします。

50 歳以上の方は、肺CT検査または胸部X線検査のどちらかを選択し、病院への予約時に申し出て下さい。

脳ドックについて

【推奨される対象者】～脳ドックガイドラインより～

血縁者に脳卒中の既往がある方や高血圧、肥満、喫煙などの危険因子があるハイリスク者の受診が勧められます。

【脳ドックを受診される方へ】

高血圧や糖尿病などの生活習慣病は、脳卒中や認知症の原因となります。特定健診などの生活習慣病予防健診と一緒に受診されるか、受診時に結果を持参してください。

血管ドックについて

【40歳～74歳の方へ】

血管ドックを受診すると、「特定健診」を受けたことになります。

「特定健診」の検査結果により、「特定保健指導」の必要な方には市からご案内があります。

保健師または管理栄養士が生活習慣の改善に向けての支援を6か月間行い、内臓脂肪型肥満や血液検査の結果の改善をめざします。